

国土地理院入札監視委員会 第2回定例会議議事概要

開催日及び場所	平成28年12月20日(火) 国土地理院関東地方測量部会議室		
委員名簿	委員長 <small>おおくぼ しゅうへい</small> 大久保 修平 (東京大学 地震研究所 高エネルギー素粒子地球 物理学研究センター長/ 教授) 委員 <small>かわい りゅうた</small> 川合 竜太 (弁護士) 委員 <small>ささき なおひこ</small> 佐々木 直彦 (公認会計士) 委員 <small>おぐち たかし</small> 小口 高 (東京大学 空間情報科学 研究センター長/教授)		
審議対象期間	平成28年4月1日～平成28年9月30日		
抽出事案	6件	(備考)	
測量業務	4件	審議案件は別紙1のとおり	
内 訳	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)		1件
	簡易公募型競争入札方式		1件
	公募型及び簡易公募型以外 の指名競争入札方式		1件
	随意契約方式		1件
物品・役務	2件		
内 訳	一般競争入札方式	2件	
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙2のとおり	別紙2のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし		

審議案件詳細

【測量業務】

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
①	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	水準測量(北上地区)	基準点測量	7	5	平成28年8月9日	昭和(株)	25,812	83.4%	
②	簡易公募型競争入札方式	応急復旧対策基図作成業務(益城・嘉島地区)	写真測量	12	10	平成28年8月4日	(株)オーシスマップ	30,402	76.6%	
③	公募型及び簡易公募型以外の指名競争入札方式	平成28年熊本地震に伴う高度地域基準点測量(熊本C地区)	基準点測量	8	8	平成28年6月23日	日豊・アースプランニング共同企業体	19,980	94.2%	
④	随意契約	平成28年熊本地震に伴う高精度標高データ及び基盤地図情報(数値標高モデル)整備	写真測量	1	1	平成28年5月6日	アジア航測(株)	27,864	97.4%	

【役務の提供等及び物品の製造等】

	入札方式	業務名	業務種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
⑤	一般競争入札方式	測量士・測量士補試験事業業務	役務の提供等	3	3	平成28年9月2日	ランスタッド(株)	75,514	69.0%	
⑥	一般競争入札方式	デジタル航空カメラ装置の賃貸借	物品の製造等	2	2	平成28年4月1日	ライカジオシステムズ(株)	107,957	67.6%	

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>1. 定例報告</p> <p>(1) 入札方式別発注案件一覧表 (測量業務、役務の提供等及び物品の製造等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ な し <p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2件の指名停止とも低入札価格調査の資料提出を求めた後の辞退だが、低入札価格調査の資料提出が過度な負担になるなら見直した方がよいのではないか。 ・ 指名停止の理由が、「技術者の配置計画が立たないとの理由により調査を拒否された」とあるが、どのように理解すればよいのか。 ・ 辞退理由が「その後の地元自治体発注の大雨による緊急作業対応により技術者が足りなくなったため」とのことであるが、そういう特別な理由であれば、指名停止までしなくてもよいのではないかと考えるが、理由は考慮しなかったのか。 <p>(3) 談合情報等への対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ な し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の辞退は「技術者の配置計画が立たない」との理由によるものです。 なお、当該事案は通常指名競争であり価格だけの競争なので、調査に必要な書類を提出してヒアリングを行い、適切な履行が可能と判断されれば契約はできるものであり、資料作成が過度な負担にはなっていないと考えております。 ・ 低入札価格調査対象業務通知書を送付し、資料の作成を依頼したところ、「技術者の配置計画が立たない」との理由により、契約辞退届が提出されたものであり、結果的に低入札価格調査を受けて頂けなかったものです。 なお、辞退理由について聞き取りしたところ、応札時には技術者は確保されていたが、その後の大雨による地元自治体からの緊急作業の要請に応えるため技術者が足りなくなり、辞退届が提出されたものです。 ・ 院内の指名停止委員会で議論した結果、開札後の辞退であり、規定上やむを得ないとの結論により指名停止といたしました。

意見・質問	回答
<p>2. 抽出事案の審議</p> <p><測量業務></p> <p>簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）</p> <p>① 水準測量（北上地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>簡易公募型競争入札方式</p> <p>② 応急復旧対策基図作成業務（益城・嘉島地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査基準価格を3者も下回っているが、予定価格はどのように算出しているのか。 積算基準の見直しはどれくらいの頻度で行われているのか。また、低入札になったら見直すのか。 一般的に、低入札調査は業者の負担になっていると聞いているが、どのような調査を行うのか。 使用する機器の台数を要件としているが、最近の優れたソフトウェアによる処理などを考慮しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 測量業務については、各業務種別ごとに積算基準が決まっており、それを基に積み上げ方式で算出しております。 消耗品や機械等については毎年実態調査を行っており、その他についても変更があるものについては適正になるように基準の見直しを行っています。 また、国土交通省全体の基準についても定期的に見直しをかけております。 なお、個別の低入札があるから直ぐに見直すということではなく、低入札が多ければ実態を見て現実に即して見直しをかけています。 具体的に利益が出るような積み上げになっているか、他者より安くするために工夫した点等を確認し、間違いなく当該金額で履行できるかどうかを客観的に聞き取りして資料の提出を求めています。負担はゼロではありませんが、出来るだけ負担がかからないようにしております。 なお、調査の内容は、当該価格で入札した理由、入札価格の内訳書、契約の履行体制、手持ち作業の状況、手持ち機械の状況、過去の同種または類似業務の実績、経営状況、信用状況、などとなっております。 使用する機器の台数は、仕様書で指定した作業手順に従って算出しています。 新技術については、技術の普及状況を踏まえて作業手順を改定し、採用できるように努めていきます。

意見・質問	回答
<p>公募型及び簡易公募型以外の指名競争入札方式</p> <p>③ 平成28年熊本地震に伴う高度地域基準点測量（熊本C地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 同作業の中でこの地区だけが落札率が高いが、この地区は何か特殊性があるのか。 <p>随意契約方式</p> <p>④ 平成28年熊本地震に伴う高精度標高データ及び基盤地図情報（数値標高モデル）整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応可能な者は2者あったとのことだが、どのような理由で契約の相手方を決めたのか。1者は遠方だったのか。 また、例えば対応可能な者が5～6者あった場合、契約の相手方はどのように選定するのか。 <p><物 品・役 務></p> <p>一般競争入札方式</p> <p>⑤ 測量士・測量士補試験事業業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回から複数年契約にしたが、入札金額はどれくらい下がったのか。 <p>⑥ デジタル航空カメラ装置の賃貸借</p> <ul style="list-style-type: none"> 5年間のリースだが、単年度レンタルは考えないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に理由は分かりませんが、作業地区の間に海があると移動等に効率的な工夫をする余地がなく、入札金額が高い傾向にあります。当該地区には間に海（島原湾）があり、移動には手間がかかり経費もかかります。 緊急航空レーザ測量においては、計測可能な測定機器を積んでいる飛行機の地理的条件などをもとに選定しております。 過去3年間の単年度の平均との比較で、1年あたり約100万円程度です。 航空カメラを搭載する航空機は、カメラに合わせて機体を整備し検査を受けなければならないため、単年度レンタルにしてカメラの仕様が年度ごとに変更された場合、時間と費用がかかりますので、複数年の方が適切と考えております。

意見・質問	回答
<p>3. その他の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設計変更に伴う契約変更について <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のような災害復旧・復興事業における緊急事態による契約変更は納得するが、なんでも「緊急事態」の理由により契約変更することは如何なものか、ということで審議する場として当委員会があり、その意味では今回の審議はそれなりの意味があったと思う。 (意見) ○ 一者応札契約の状況について <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回（第1回）の委員会での意見により今回は過去5年の状況を示して頂いたが、今後5年分くらいのデータを示して頂きたい。 (意見) ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	